

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月24日			
平成15年度	事業コード	12120	電話	042-769-8347
担当部課名	保健所	生活衛生	課	環境衛生 班
事務事業名	負傷犬・猫処置事業			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	地域保健対策の充実	12年度
施策名	第2施策	快適で安全な生活環境の確保	

## 2 実施根拠及び関連法令等

動物の愛護及び管理に関する法律
-----------------

## 3 事務の区分

自治事務

## 4 経費の区分

義務的経費

## 5 事務事業の分類

市単独事業

## 6 受益者負担

なし

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
・市民等からの通報により、公共の場所において、疾病にかかり、若しくは負傷した犬、ねこの収容及び治療を行う	負傷犬、猫
	対象数 113
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
負傷犬、猫処置件数 負傷犬 8件 負傷猫 105件	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
活動指標	処置率	処置件数 ÷ 通報件数 × 100	処置率により事業の活動状況を見る	100	100	100	100	100

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	832	925	1,009	1,308	1,308
人員・時間数	1人・70.25時間	1人・72.25時間	1人・76.25時間	1人・83時間	1人・83時間
人件費	293	303	318	346	346
その他経費	0	0	0	0	0
合計	1,125	1,228	1,327	1,654	1,654
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	89	99	113	140	140
対象の単位あたり経費	12.6	12.4	11.7	11.8	11.8

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
		説明	負傷犬等の収容、処置については、すべての通報に対応し、処理している						
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている						
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している						
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない						
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 動物虐待等が問題視されている中で、動物へのいたわり、命の尊さ等、動物愛護思想の啓発にも必要な事業である。						
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である						
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている						
	C : 有効ではない								
		説明	本事業を広く市民に啓発することにより、動物愛護思想の普及啓発につながる						
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている						
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている						
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている						
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 収容、処置については、相模原市獣医師会へ委託しているため、事業費のうち人件費等の割合も低く、対象1件あたりの経費については、経済性・効率性は高いといえる						
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である						
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である						
	C : 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)						
		説明	公平性については、確保されている。						
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額							
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 飼い犬の係留及び猫の飼い主等へ室内飼いを啓発することにより、負傷犬、猫の数を減少させる。		手段	適正飼養の指導、啓発をすることにより、負傷犬、猫の数を減少させ、委託経費を削減する					
			削減額	90 千円					

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
	夜間、休日のみの事業委託をしている自治体等、委託の形態等は様々であるが、1頭あたりの経費については、ほぼ同様の水準である。		
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明	
<input type="checkbox"/>	見直し	動物虐待等が問題視されている中で、本事業を継続していくことが、動物へのいたわり等、動物愛護思想の普及啓発にもつながると考えられる。	
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済		

12 二次評価コメント

--